

基本的な学習過程

段階	教師のはたらきかけ (発問, 演示, 試技, 資料提示)	予想される児童(生徒)の活動 (働きかけに対しての子供の表れ)	形態	指導上の留意点
とらえ・見通す	<p>発問は、単なる質問でなく、子供の問いを呼び起こすものでありたい。</p> <div data-bbox="231 414 587 564" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>発問 (初発問) 子供に、学習の課題を意識させ、自分なりの考えを持たせる発問。</p> </div> <div data-bbox="231 654 587 804" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>発問 (焦点化) 発問で引き出された子供の考え等を顕在化させ、焦点化・類型化させるための発問</p> </div> <div data-bbox="231 893 587 1077" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>発問 (主発問) 発問により、焦点化や類型化された子供の感じ方、考え方、行動の仕方にゆさぶりをかける(言葉、実験、資料)</p> </div> <div data-bbox="231 1167 587 1451" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>発問 (助言, 指示) 解決のための手がかりが、子供自身で見えない場合 ・解決を援助する手だて ・子供の分かりやすい言葉 ・教科や教材のもつ特質を生かした援助 ここが強いと教師中心に</p> </div>	<p>子供の活動は、質の高いもの、低いもの、正答・誤答、など予想できるものを大切にしたい。</p> <div data-bbox="646 414 1061 564" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習の課題に対して、自分なりの感じ方、考え方、仕方を持つ。 ノートに書くとか、試技してみる (一人一人の既有的知識・体験)</p> </div> <p>この斜めの線を大事にする。</p> <div data-bbox="646 654 1061 804" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自分なりの考え等を表現し、自他の違い等を自覚し、追求の方向が焦点化されていく。 (試技, 話し合い, ノート等)</p> </div> <div data-bbox="646 900 1061 1010" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>発問に対しての子供の活動。 (教材の本質に近づくための繰り返し。質的には高くなる。)</p> <div data-bbox="678 1041 1029 1191" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自力解決(繰り返し) ・解決のための手がかりを子供たちが発見する。 ・それを個人, 班, 一斉で追求していく過程。</p> </div> <div data-bbox="702 1236 1005 1422" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> <p>その過程で, 自己決定する力 自他の違いを生かす (存在感, 効力感) 生徒指導の機能</p> </div> </div>	分節・展開に 応じた学習形態を 個・班・一斉等	<div data-bbox="1149 414 1396 564" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>なぜ、このような反応・応答が生じるか、子供の意識を予想して書く。</p> </div> <p>この留意点の欄には、次のことも書きたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別指導への配慮事項</li> <li>・資料提示の方法</li> <li>・教育機器の活用方法</li> <li>・評価の観点, 方法</li> <li>・安全への配慮</li> </ul>
まとめ・広げる	<div data-bbox="231 1541 587 1758" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>発問 子供に高まった姿を感じさせながら、本時で育てたいことを明確にする。 ・もう一度全体を振り返る。 (本時の評価にもなる。)</p> </div> <p>このあとに、学習事項定着の練習、操作の過程が必要な場合もある。</p>	<div data-bbox="646 1541 1061 1758" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・変容した自分の姿を感じ、成就感、成功感を味わい、子供個々に高まりを実感する。  (具体的な言葉、行動を書く)</p> </div>		

「とらえ・見通す」

学習課題をとらえ、問題意識をもつ段階

「練り・深める」

自分なりに予想したり、解決の方向・仕方を考えたりする段階

互いに、自分なりの考え・仕方を出しながら深める段階

「まとめ・広げる」

場合によっては、先生の助言を必要とする段階

はじめの自分の考え・仕方が変わったこと、納得がいったことを確認する段階

学習したことを、他にあてはめてみたり、次時の学習の方向を確認する段階